

富山高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	環日本海諸国語 I A(ロシア語)
科目基礎情報					
科目番号	0010	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科	対象学年	1		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	"ПОЕХАЛИ!" ("Let's go!") 1-1、その他、別途指示する				
担当教員	山本 有希				
到達目標					
(1)アルファベットの読み書きを修得する (2)名詞等の性数変化の概念、動詞人称変化を理解する (3)単位認定には50点以上を必要とする					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	名詞の性別、格変化の概念及び動詞の活用が8割以上理解できる。	名詞の性別、格変化の概念及び動詞の活用が6割以上理解できる。	名詞の性別、格変化の概念及び動詞の活用における理解度が6割に達しない。		
評価項目2	上記文法事項を活用した作文及び文章読解がスムーズにできる。	上記文法事項を活用した作文及び文章読解ができる。	上記文法事項を活用した作文及び文章読解が満足にできない。		
評価項目3	ペアワークやグループワークにおいて、積極的に表現を考え、発表することが良くできる。	ペアワークやグループワークで協力して表現を考え、発表することができる。	ペアワークやグループワークで協力して表現を考え、発表することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	【授業の目標と概要】 (目標) ロシア語の音読や会話を中心に、広くロシア社会・文化等への関心を養う。 (概要) ロシア文字の発音、名詞・形容詞等の性数変化、動詞の現在人称変化を用いた表現を修得する				
授業の進め方・方法	教員単独による講義と演習				
注意点	(授業改善策) 学生の理解度を確認しながら授業を進めるよう努める。 評価が50点に満たない者は、願出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者については、その評価を50点とする。 (備考) 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画は、学生の理解度に応じて変更することがある 3)定期試験(中間試験及び期末試験)を70点、その他(発表、課題、小テストなど)を30点として評価する				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1)ガイダンス 2)オリエンテーション	環日本海諸国語についての概説(1)	
		2週	オリエンテーション	環日本海諸国語についての概説(2)	
		3週	オリエンテーション	環日本海諸国語についての概説(3)	
		4週	オリエンテーション	環日本海諸国語についての概説(4)	
		5週	オリエンテーション	環日本海諸国語についての概説(5)	
		6週	第1、2、12課	アルファベットの発音を学び、挨拶表現ができる	
		7週	第3課	場所を尋ねる表現ができる。 人称代名詞を用いた表現ができる	
		8週	第4課	動詞第1人称変化を覚え、「～している、～する」という動作を表現できる	
	2ndQ	9週	第4課	動詞第1人称変化を覚え、「～している、～する」という動作を表現できる	
		10週	中間試験	中間試験は実施しない	
		11週	第5課	動詞第2人称変化を覚え、特に「～語で話す」と話すことができる	
		12週	第5課	動詞第2人称変化を覚え、特に「～語で話す」と話すことができる	
		13週	第6、7、9課	人称代名詞の対格を用いて、自己紹介や「～が好き」といった表現をする子ができる	
		14週	第8、10課	名詞の複数形を学び、所有代名詞の性別と数の概念を理解し、表現できる	
		15週	期末試験	既習事項を確認する	
		16週	成績確認	1)試験返却・解説及び成績確認 2)夏休みの課題の確認	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0